

令和 5 年度 学校教育目標	校訓「自律 創造 奉仕」の精神をもとに、自他を大切に、自ら意識して行動する生徒の育成
----------------	--

本年度の重点			年度末評価
重点目標 及び 指標		重点的取組	評価 ○成果 ◆次年度に向けた方向性・改善点
子どもの「学び」に関すること	重点目標	時代を切り拓く力の育成	B 学び⑤ ○学校生活アンケート「授業では、課題の解決(めあての達成)に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」について、肯定的な回答をした生徒の割合が98%、教職員アンケート「授業では、課題の解決(めあての達成)に向けて、生徒が自分で考え、自分から取り組むように指導していますか。」について、肯定的な回答をした教職員は100%であった。このことから学校全体が主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を実践していることが成果である。 ○学校生活アンケート「授業や総合的な学習において、工夫して自分の考えをまとめたり発表したりすることができる生徒の割合が年間を通して70%を超え、今後、さらに目的に合わせて考えをまとめたり発表することができる生徒が増えることが期待できる。
	指標	<学校生活アンケート> ◆「授業では、課題の解決(めあての達成)に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか。」について、肯定的な回答をした生徒の割合[90%以上] ◆「授業や総合的な学習において、工夫して自分の考えをまとめたり発表したりすることができる生徒の割合[70%以上]	
子どもの「心の育ち」に関すること	重点目標	安心な学びの場づくり	B 心の育ち⑤ ○学校生活アンケートの「先生や友達はあるよと認めてくれていると思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合が89%であり、教育活動全体において生徒の自己肯定感を高めることができていると思われる。特に、支援が必要な生徒に対してそれぞれの役割を活かして職員全員で支援できた。 ◆学校生活アンケートの「学校に行くのは楽しいと思えますか」について、肯定的な回答をした生徒の割合が79%であったが、否定的な回答をした生徒やサポートが必要な生徒もいることを課題と捉え、引き続き関係機関と連携して個々に応じた支援とすることが大切である。
	指標	<学校生活アンケート> ◆「先生や友達はあるよと認めてくれていると思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合[90%以上] ◆「学校に行くのは楽しいと思えますか」について、肯定的な回答をした生徒の割合[80%以上]	
子どもの「体力」に関すること	重点目標	日常的に運動に親しむ生徒の育成	B 体力⑤ ○学校生活アンケートの「保健体育の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感することがある」について、肯定的な回答をした生徒の割合が92%であり、日々の授業の取組が生徒の意識を高めることができた。 ◆学校生活アンケートの「放課後や学校が休みの日に、部活動やスポーツクラブ以外で、運動をする」について、肯定的な回答をした生徒の割合が53%であり学校以外での運動する機会がすくないため、家庭での過ごし方を生徒自身が考える機会をもつことが大切である。
	指標	<学校生活アンケート> ◆「保健体育の授業で、自分の動きの質が向上していることを実感することがある」について、肯定的な回答をした生徒の割合[70%以上] ◆「放課後や学校が休みの日に、部活動やスポーツクラブ以外で、運動をする」について、肯定的な回答をした生徒の割合[60%以上]	
確かな学力の向上に関すること	重点目標	ICT活用および読書活動や家庭学習の充実	B ICT活用および読書活動や家庭学習⑤ ○学校生活アンケート「学習の中でタブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合が94%と高い数値であり、ICTの活用は生徒にとってあたりまえのツールとして日々活用しておりさらに効果的な活用が期待できる。 ◆学校生活アンケート「普段(月曜～金曜)、1日10分以上読書をする」と回答した生徒の割合が39%と低く、朝読書や図書館の活用などを学校図書館職員や生徒会と連携してより活発に行う必要がある。 ◆学校生活アンケート「学校の授業時間以外に、普段(月曜～金曜)、1日1時間以上勉強する」について、肯定的な回答をした生徒の割合が42%であり、今後は家庭学習の質と取り組む時間の改善をスマートフォンの利用時間等、家庭での過ごし方を見直すことも含め保護者
	指標	<学校生活アンケート> ◆「学習の中でタブレットなどのICT機器を使うのは、勉強の役に立つと思う」について、肯定的な回答をした生徒の割合[90%以上] ◆「普段(月曜～金曜)、1日10分以上読書をする」生徒の割合[80%以上] ◆「学校の授業時間以外に、普段(月曜～金曜)、1日1時間以上勉強する」生徒の割合[60%以上]	
人材育成・業務改善に関すること	重点目標	働きがいのある学校	A 働きがいのある学校⑤ ○職員アンケート「校務分掌や学年の分掌に主体的に取り組んだり、会議や研修において積極的に意見を述べたりしている」に90%の教職員が肯定的な回答をしており、職員が語らいながら日々業務を行うことができた。 ○職員アンケート「業務に優先順位をつけて計画的に取り組む等、ワークライフバランスに努めている」や「新しい部活動の在り方について共通理解し、時程を見直したことで、効率的・効果的な部活動を実践し、残業時間を短縮することができましたか。」に100%の職員が肯定的な回答をしており、働きがいのある学校を全職員でつくることができた。
	指標	<学校評価アンケート> ◆「校務分掌や学年の分掌に主体的に取り組んだり、会議や研修において積極的に意見を述べたりしている」教職員の割合[90%以上] ◆「業務に優先順位をつけて計画的に取り組む等、ワークライフバランスに努めている」教職員の割合[100%]	